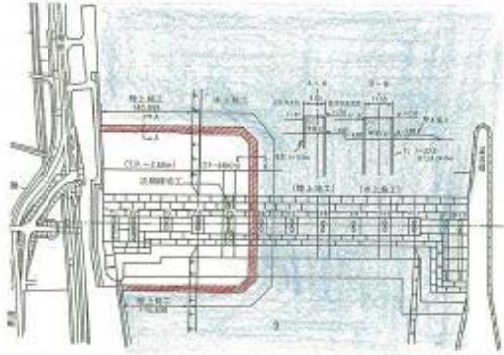


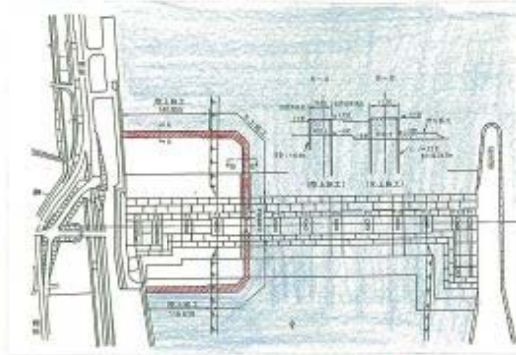
# 長良川河口堰本体工事

第1回 仮締切工平面図  
H1.10/2 ~ H2.5/12



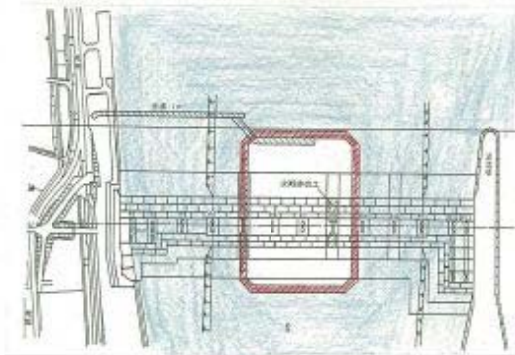
長良川

第2回 仮締切工平面図  
H2.10/1 ~ H3.5/31



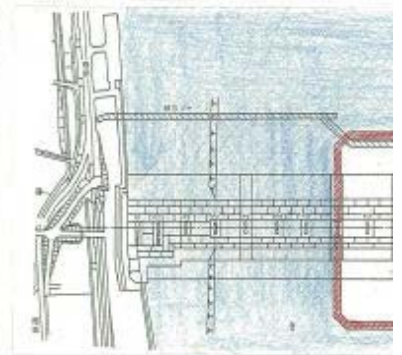
長良川

第3回 仮締切工平面図  
H3.10/1 ~ H4.5/25

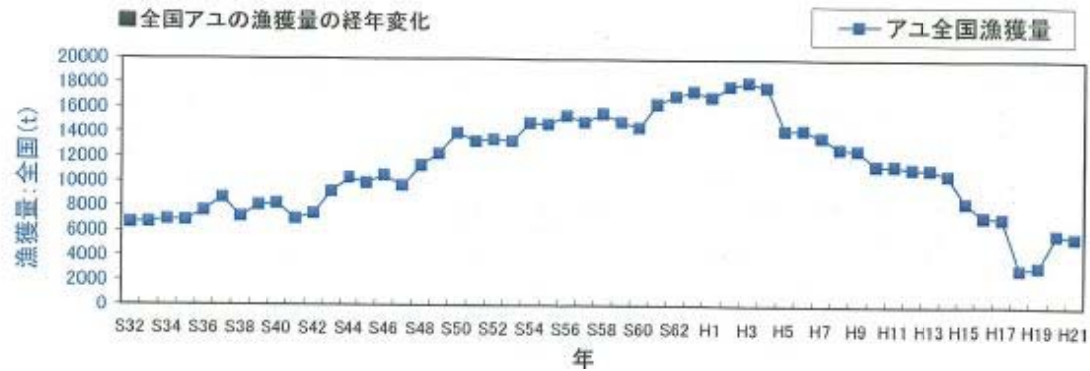
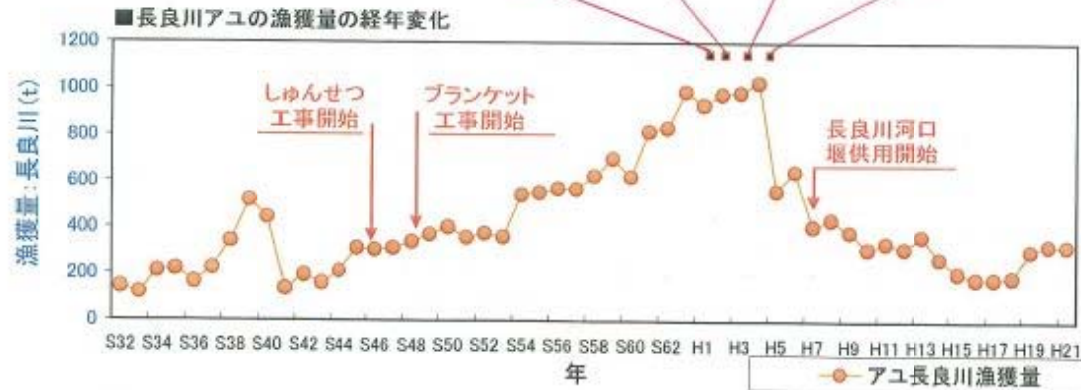


長良川

第4回 仮締切工平面図  
H4.10/1 ~ H5.6/20



長良川



# 第4回仮締切工全景



# 施設の概要(調節ゲートによる操作)

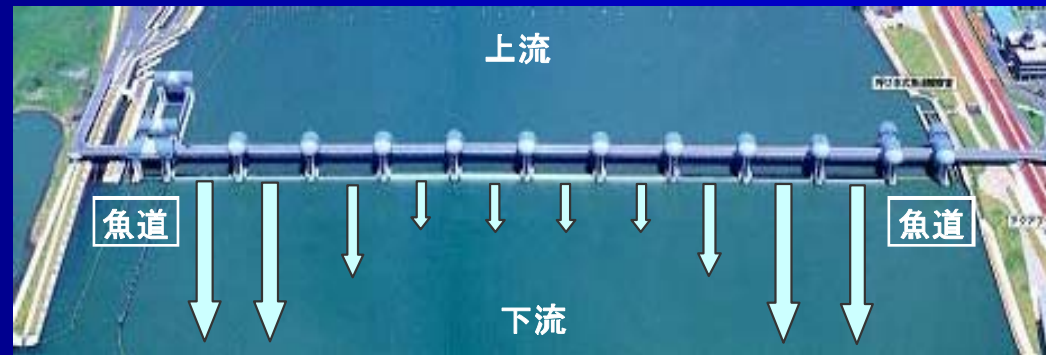
魚類の遡上、降下に十分配慮したゲート操作を実施しています。

## アユ遡上期

(遡上期の2月1日～6月30日の間)

アユの岸側を遡上する習性と流れに向かって泳ぐ習性を考慮し、岸に近いゲートの流量を増やすことで稚アユを岸側に誘導し、より遡上の容易な左右岸の各種魚道に導くための操作を行います。

左右岸寄りのゲートを優先して放流する

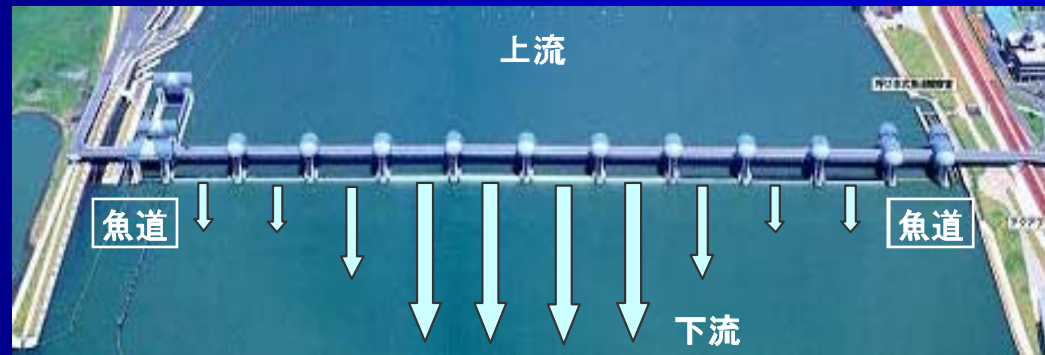


## アユ降下期

(降下期の9月1日～12月31日の間)

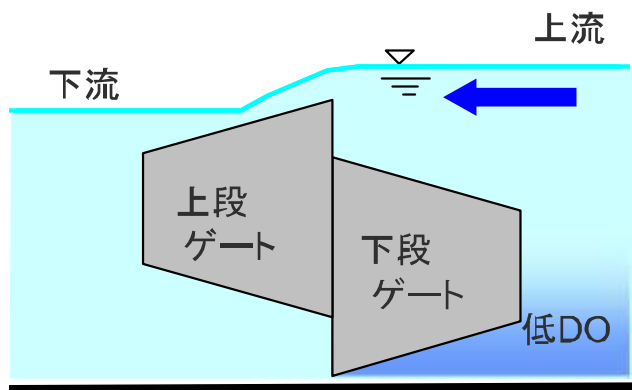
孵化したばかりの仔アユは流速の速い河川の流心部を流下する習性があることから、誘導操作とは逆に、河川中央部のゲートの流量を最も多くし、仔アユの降下を助ける操作を行います。

中央寄りのゲートを優先して放流する

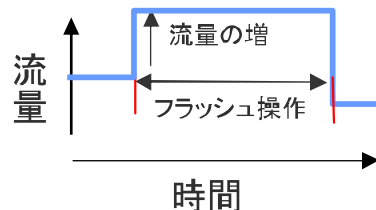
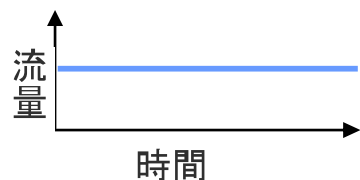
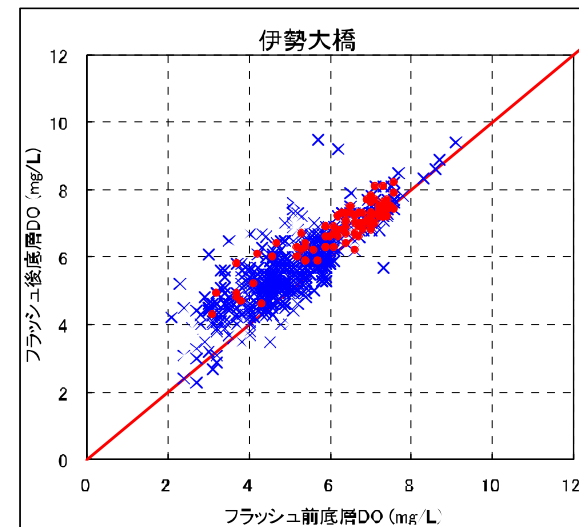
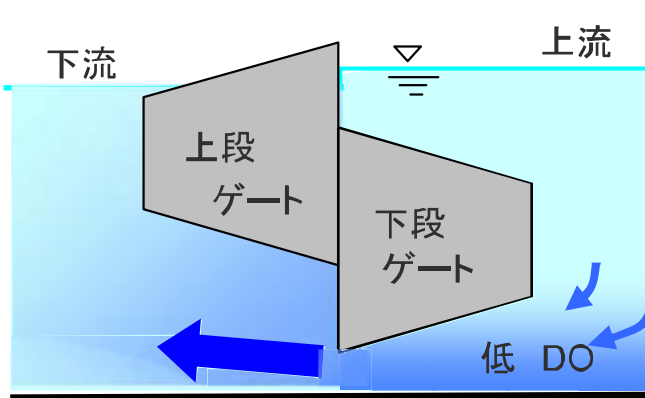


# 更なる弾力的な運用 (フラッシュ操作)

フラッシュ操作前



フラッシュ操作時

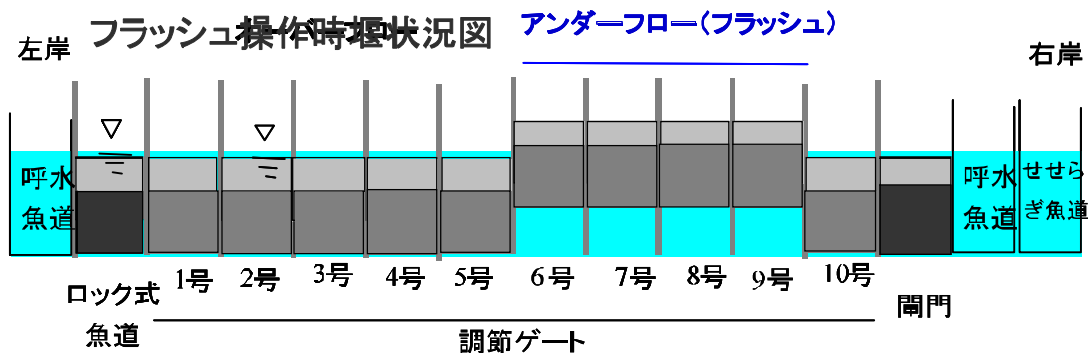
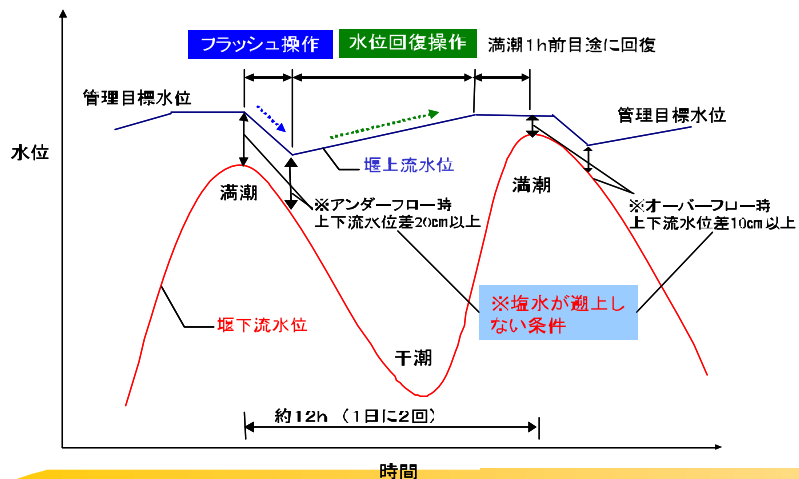


データは平成12年度～23年度

●は平成23年度分(119回)

アンダーフラッシュデータ数(H12-23)	560 個	100.0%
操作前後底層DO比較	上昇	436 個 77.9%
	変化無し	52 個 9.3%
	低下	72 個 12.9%

## 【塩水を遡上させない範囲におけるフラッシュ操作】



# 河口堰操作の特徴

— 操作員が365日、24時間体制で監視、操作を実施 —



## 【管理所操作室】

- 適切な水位管理のために操作員を常時配置
- 津波等発生時の迅速な対応
- 環境等に配慮したきめ細かな堰操作

